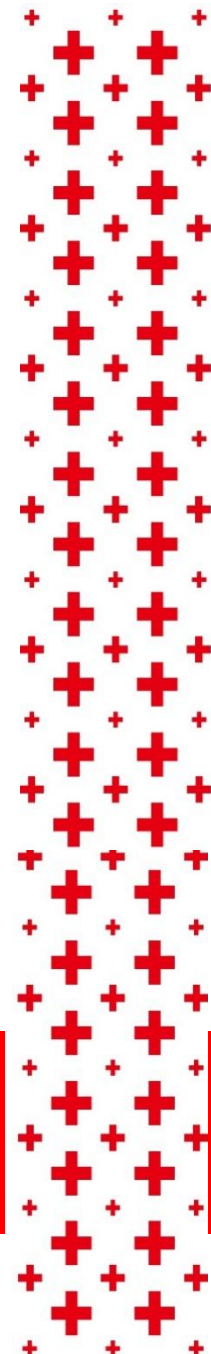




日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院

= 仕事図鑑 =



Nurse

Q1.仕事内容は？

重症患者を受け入れている救命救急センターで働いています。
また本社からの要請があった際には海外支援活動に出向いています。

馬場 淳

・高山市出身
・赤十字国際救援活動にも参加



Q2.仕事のやりがいは？

救命救急の分野は日々情報が新しくなっているため、自ら勉強していくことが必要です。総合病院のため、様々な診療科を経験します。いろいろな患者さんとの出会いがあり、学ぶことが多いです。その結果、多方面から物事を見る力が付きました。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

海外で働くことも考えました。しかし、若者の支えが不足して、成り立たなくなる村や街などを海外でも見てきたため、生まれ育った高山で働くことに決めました。そこで、看護師として勤務しながら海外支援を経験できる赤十字へ勤務しました。

Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

私は27歳の時、看護師になりました。様々な経験をして失敗もありましたが、医療者として海外支援に関わることが夢でした。やりたいことがあれば、「夢をあきらめない」ことが大事です。いろいろな経験をしてください。きっと将来役に立つときがあります。

看護師



蒲 千佳

・高山市出身
・斐太高校卒

助産師



Q1.仕事内容は？

産婦人科病棟で入院された方のサポートをしています。妊産婦さんには安心・安全に自分らしいお産ができるようサポートさせていただき、婦人科の方には安全に治療が行われ、入院中の不安には医師やその他の職種の方と連携して安心して退院できるようサポートしています。



Q2.仕事のやりがいは？

入院された方が笑顔で退院されている姿を見るのが何よりうれしいです。また、高山では、日常の中で退院された方を偶然お見かけすることがあります。その方が笑顔で生活されている姿を見ると安心するとともに、この仕事をしているやりがいを感じます。また、係長という役に付かせていただき、患者さんのみだけではなく、スタッフの笑顔からも力をもらっています。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

3年間東京の病院で仕事をしていました。もともと助産師として地元の病院で仕事をして、地域の役に少しでも立ちたいと思っていて、4年目で高山に戻ってきました。地域の医療を支えるとともに自分自身が向上できる仕事がしたいと思い、この病院を選びました。

Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

私たちは皆さんの今やこれからを応援しています。
一緒に飛騨の医療を支えていきませんか？いつでも声をかけてくださいね。

Medical technologist



臨床検査技師

川端 さやか

- ・高山市出身
- ・高山西高校卒
- ・平成29年採用

Q1.仕事内容は？

臨床検査技師は主に患者の体から情報を記録する仕事です。心電図、脳波、呼吸機能などの生理機能検査を行っています。

Q2.仕事のやりがいとは？

生理検査を担当していますが、自分の知識・技術で質に差が出ます。医師に検査の結果を正しく伝え、それが患者さんの治療につながっていくことがやりがいです。また、検査を受けられる患者さんには不安を抱えている方も多く、対応や接し方は特に気を付けています。検査後に「安心した」と言われると嬉しいですね。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

高校時代の職場体験で検査技師を見学したことから検査技師という職業に興味を持ちました。高山赤十字病院は救急も扱う三次医療機関なので多くの経験ができ、自分の知識・技術の向上ができると思い選びました。

Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

医療従事者は、自分の身につけた知識・技術をチームの一員として活かすことができます。患者さんを救う医療職の一つとして検査技師に興味を持ってもらえれば嬉しいです。

松山 裕也

- ・高山市出身
- ・吉城高校卒
- ・平成25年採用

臨床検査技師



Q1.仕事内容は？

検査には検体検査と生理検査があり、私は検体検査を担当しています。検体検査は、病理検査、血液検査、喀痰検査、尿検査、細菌検査など幅広い分野が対象になっています。

Q2.仕事のやりがいは？

病理検査によってがん細胞の有無がわかったり、細菌検査によって原因菌がわかったりします。結果について迅速、正確に報告することを心がけており、報告によって適切な治療につながるのととてもやりがいを感じます。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

高山赤十字病院に勤める前は大学病院で働いていました。大学病院では臨床検査技師が150人ほど働いていましたが、忙しい中で自分の行った検査が治療につながっていくという実感があまりありませんでした。その中で、地元に戻って地元に貢献したいと思っていたことと、同級生がすでに臨床検査技師として働いていたことから高山赤十字病院を選びました。他部署とも仲が良いですし、救急もあり多くの経験ができています。



Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

私は生物学が好きだったこと、家族の勧めがあって検査技師を目指しました。今は、インターネットでどんな職種があるのか、どんな仕事内容か調べることができます。どの職種も大変なこともあります、やりがいもあります。興味のある分野を見つけて頑張ってもらえればと思います。

大澤 琢郎

- ・高山市出身
- ・斐太高校卒
- ・平成31年採用

Pharmacist



薬剤師

Q1.仕事内容は？

当院の薬剤師は基本的に病棟業務に携わることが多いです。服薬指導はもちろんのこと、副作用のモニタリング・注射の配合変化チェックなど様々な場面で治療に関わっていきます。また、医師や看護師等のカンファレンスに参加し治療をより良いものにするため服薬について提案することもあります。

Q2.仕事のやりがいは？

病棟業務では患者さんと触れ合う機会が多いので、薬の効果や副作用などを肌で感じることができます。鎮痛薬を投与した次の日に痛みが軽減して「ありがとう」と言われることがあります。ドラマでは「感謝されたいなら薬剤師は向いていない」というセリフがありましたが、感謝していただけることもあります。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

高山で、病院で働きたいという思いが強かったです。薬剤部を見学した際に若手が多かったことが決め手になりました。

Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

病院薬剤師の業務は非常に多岐にわたります。なので、物事の優先順位を適切につけながら仕事をしないといけません。学生時代のアルバイト経験は必ず生きます。また、病院や薬局の学生実習は一度きりしかありません。知識をつけることも大切ですが、将来自分が、病院あるいは薬局という環境で働いていけるのかを考えてほしいです。そして、もし病院が合っていると思えば、ぜひ当院に来てください。



Q1.仕事内容は？

主に入院患者さんへの調剤を行っており、新しい薬を内服する場合は服薬指導を、手術や検査の前には術前指導を行っています。入院時に持参された薬の確認、薬剤同士の相互作用の確認、抗がん剤の量や副作用の確認、調製など多岐にわたって行っています。

Q2.仕事のやりがいとは？

ご高齢の患者さんは薬を飲んでいる方が多いので、入院時に持参された薬を見て、病院で処方された薬をどのように組み合わせたらよいかを考えます。薬剤師になって3年目。院内で声を掛けられることが多くなり他の医療職と連携して業務を行うことにやりがいを感じています。

元田 美佳

- ・飛騨市出身
- ・斐太高校卒
- ・平成30年採用

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

薬剤師としての就職先は調剤薬局やドラッグストアなどがありますが、病院勤務を希望していたので学生の時の実習施設だった高山日赤に来ました。当院では新人だから特定の業務のみを行う、というわけではなく薬剤業務を全般的に関わらせていただいています。どんなことでも挑戦することができます。自分の将来性につながっていくと感じています。

薬剤師



Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

最近ドラマで病院薬剤師が取り上げられることがあり、どんな仕事なのかイメージしてもらえるよい機会だったかなと思います。大学は6年間通い、薬学について座学や実験、実習を通じ勉強をします。薬学部では高校時代で学んだ化学、物理、生物についてより専門的に学びます。興味を持った人はぜひチャレンジしてみてください。

Q1.仕事内容は？

放射線を使う検査は、レントゲン・ポータブル撮影・マンモグラフィ・CT
放射線を使わない検査はMRI、超音波検査(腹部・乳腺)があり、
これらを使って画像を提供する仕事をしています。このほかに、
放射線を使って悪性腫瘍を治すほかに痛みを和らげる治療を行っています。



診療放射線技師

大久保 鮎美

・高山市出身
・吉城高校卒

Q2.仕事のやりがいは？

ほかの職種と比べると、患者さんとの関わりは少ないですが、
放射線などを使っていろいろな種類の画像を提供できる仕事は
とてもやりがいがあります。

Q3.なぜ高山赤十字病院で仕事をしたいと思った？

地元で働けたらと思っていたのと、日赤ならいろいろな経験ができると思ったからです。
健診から救急の現場まで幅広く経験ができます。

Q4.これから医療の道に進む方へのメッセージ

放射線を扱う仕事と聞くと被ばくが心配でネガティブなイメージがあると思いますが、しっかり管理された中で仕事ができ、妊婦でも働くことができる職場です。10年ほど前は学校での男女比は7:3でしたが、最近では、6:4や5:5と女性が増えてきています。マンモグラフィ検査など女性が必要とされる場面も多くあり、患者さんからも女性でよかったと言われることもあります。昔よりは増えましたがまだまだ女性の少ない職種なので興味を持っていただけたら嬉しいです。

Radiologic technologist

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity



医療人を目指すみなさんを応援します



〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 FAX 0577-32-6802
<http://www.takayama.jrc.or.jp/>

